

東能勢中学校だより

～一人ひとりを大切にしたい 一人ひとりが輝ける学校～

令和4年(2022年) 2月号

本校でSDGsの学習を導入して2年がたちました。それに合わせて修学旅行先も東京方面に切り替える予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大で実施が難しくなっています。気候変動や環境問題、国やジェンダーの平等、平和と公正などをテーマにしたSDGsの学習は普遍的な人権学習です。東京に行けなくても、今年の2年生はJICA関西などを利用し、17の目標について調べて学んでまとめました。その発表会がありました。プレゼンの最後にはゴールに対して、自分は何ができるか「行動宣言」を唱えます。難しくスケールの大きな課題でも国や他人任せにせず、自分事へと引き寄せて身近なことから行おうと宣言している生徒が多く、感動しました。有言実行できるように期待しつつも、私たち大人も頑張らないと、と思われました。

SDGsの中には地球環境の課題を含むゴールがいくつかあります。ごみ問題もそうです。お笑いコンビ「マシンガンズ」のツッコミ芸人の滝沢秀一さんは、プロのごみ清掃員としても活躍しています。正月早々の新聞にインタビュー記事がありました。

(1/3付朝日新聞GLOVE) 滝沢さんは、漫才の傍らごみ回収会社に就職して10年。最初、ごみの量のあまりの多さに衝撃を受けたそうです。そして毎日、東京都内をまわって大量のごみを回収し、「見えないものが見えるようになってきた」そうです。自らごみ減量や再利用に取り組み、清掃員をやって気づいたことなどをたくさんの著書や動画で発表され、「ごみ育」に貢献されています。ごみを減らすには「買う前に捨てる時のことまでイメージすること」が大事。本当に認めたものだけを買う、包装の少ない方を選ぶ。捨てる時に作った人や回収する人の気持ちを考える。それらをイメージすることが大切だと言っています。「ものを作る方も、捨てる方も、回収する方も同等でないとゆがんだ社会になる。食べ残しのごみを見ると、『自分で買ったものだから捨てるのが自分の勝手だろう。』という傲慢さを感じます。」とありました。なるほど、ごみの多さは決して豊かさの表れではなく、人間の傲慢さからくるものと気づかされました。ごみの3R (Reduce Reuse Recycle) にもう一つのR、

Respect (敬意) を加えれば、ごみ問題の解決につながると、滝沢さんは言っています。

食べ物の浪費をしない・水の無駄遣いをしない・ごみの分別とリサイクル・釣りで小魚はリリース、ごみは持ち帰る・節電・フェアトレードの物を買う・MSC



認証マークの魚を食べる・・・これらはすべて生徒たちの行動宣言です。私たちが住む地球へのRespectを行動で表していきたいです。

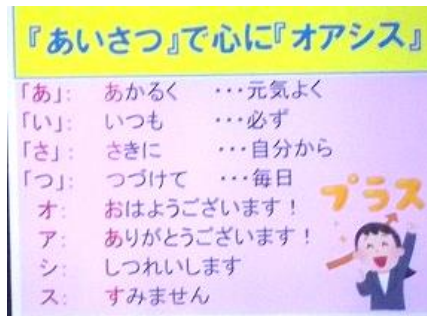
＜先月の主な様子＞

〇13(木) 1、2年生大阪府チャレンジテスト 3年生実力テスト

今年度の学習のまとめであり、3年生での公立高校の入試の資料になる大阪府の統一したテストである1、2年生のチャレンジテスト。1学期にとよのチャレンジがあったのでマークシートテストには少し慣れて臨めたようです。結果は3月初めぐらいに来る予定です。並行して3年生は、公立高校入試の力を試す実力テストを行いました。

〇19(水) 1年キャリア学習 その1 ハローワーク講習

職場訪問学習の事前学習を兼ねて、ハローワーク池田(公共職業安定所)の就職支援ナビゲーターの方をゲストティーチャーに講習していただきました。「働くとは、生きること、社会と人とつながること。人とのつながりには、愛されること・ほめられること・役にたつこと・必要とされること」という幸せがある」というお話の後、コミュニケーションの基本



である「あいさつ」についても勉強しました。実際に「語先後礼(先にことばを言ってからお礼をする)」を練習しました。



〇21(金) 1年キャリア学習 その2 職場訪問

2～3人の小グループで、近隣の事業所に分かれて聞き取り学習を行いました。金融、公共、福祉、販売、運輸、娯楽等、学校の周辺にもいろいろなジャンルの事業所があります。仕事の内容や目的、喜びや大変さを事業所の方にお聞きし、自分たちの将来の仕事観につなげます。残念ながら感染症拡大の状況で直接訪問できず、文書等でのやり取りになった事業所もありましたが、それぞれのグループでまとめ、発表し合いました。



O26(水)~28(金) 3年学年末テスト

3年生にとっては中学校で最後となる定期テストでした。3年間の総まとめでもあり、公立高校選択の進路懇談の資料にもなります。悔いなく力が出せたでしょうか。

O28(金) 2年 SDGsについての学習発表

国連が2030年の世界的な実現に向けて掲げた「持続可能な開発目標 (SDGs)」。その達成のために何ができるかを考えるために、取り組んでいます。「もし世界が100人の村だったら」のワークショップ、神戸JICA関西での見学、青年海外協力隊員の聞き取り。17のゴールから1つ選び、各自それを掘り下げて、その課題の背景、現状を調べ、解決策や自分たちができることについての意見をまとめ、冊子を作りました。それに基づき、一人ひとりが、パワーポイントで発表しました。発表の中で、「今回初めて知ったこともあった。」「もっとニュースとか見て知ってきたい。」「多くの人に知ってもらいたい。」と次につながる意見が聞けました。解決に向かう初めの一歩は、まず、知ること、関心をもつことからです。町教育委員会からも見に来られ、「発表はもちろんですが、友だちの発表を聞く姿勢にも感動しました。『一人ひとりを大切にした 一人ひとりが輝ける学校』という学校教育目標を象徴するような報告会でした。」と評価してくださいました。



エコバッグ、エコ商品、
児童労働から守るプロジェクト、フェアトレード…行動するためのキーワードができました



第75回卒業証書授与式について

3月14日(月) 9:00開式 体育館において 卒業生・ご家族の方(2名まで)・教職員の参加で行う予定です。詳細は後日お知らせします。

毎学期、一週間の教員相互参観授業 WEEK を設けて授業研究をしています

授業公開週間・研究授業

3学期の相互参観は17日~21日でした。

研究テーマの「生徒の課題を見据えた生徒が主役になる授業づくり」の視点をもって授業参観し、評価シートを交流しています。

中島先生の初任者研究授業の後は、校外からの参観者を交えてワークショップ形式で研究協議を行いました。24日には道徳教育研究会を本校で行い、桃山学院教育大学准教授の龍神美和先生の示範授業を3年生で行っていただきました。龍神先生はかつて東能勢小学校教諭だったので、生徒には懐かしい再会でした。

20日(木) 英語研究授業

24日(月) 町道徳教育研究会の示範授業



大隈教諭



テーマに沿った授業だったか協議します

友野教諭



龍神先生の道徳授業

今年度の新転任者の授業風景です



関本教諭



中島教諭



《2月の主な予定》

- 3日(木) 小学6年生保護者対象入学説明会 (13:45~)
- 10日(木)~11日(金) 私立高校入学試験
- 10日(木) *第2回学校協議会
- 17日(木)~18日(金) 公立高校特別選抜学力検査 合格発表28日(月)
- 22日(火)~25日(金) 1, 2年学年末テスト 3年進路懇談(5限授業)
- 24日(木) *小学4, 5年生保護者対象学校説明会(町教委主催)
- 28日(月) 生徒会による小学4~6年生児童対象学校説明会

